

広域圏における 子育て世帯への 情報発信

広域圏内のお出掛け情報発信で、
日頃の休日・余暇が充実！！

Team SALUD

班 長：舞 希（竹田市）
副班長：渡邊 康成（別府市）
班 員：津田 惇樹（大分市）
小代 洋介（豊後大野市）
佐藤 瞳海（臼杵市）
明石 剣斗（由布市）
佐々木 健太（津久見市）
小石 剛之（日出町）

テーマの背景・現状の課題 と 目指すべき圏域の将来像

広域圏内の各市町において、子育て世帯向け情報発信が一元化されていない。
便利な子育てフィールドとして広域圏の魅力が十分に伝わっていない、有効活用できていない。

【各市町の子育て支援情報の発信ツールの現状・取組】

- ① **ホームページ**：各部署ごとに該当する事業や制度、施設やイベントなどを掲載。
(大分市、別府市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市、日出町)
- ② **ガイドブック・情報冊子**：児童福祉、障害福祉、教育の各分野の制度、及び施設情報等が網羅的に掲載されている。
(大分市、別府市、津久見市、竹田市、豊後大野市、日出町) ※臼杵市は母子モ導入で廃止
- ③ **子育て支援サイト**：②のWeb版的な作りのものが多い。大分市のnaanaは登録者同市のコミュニケーション機能等もあり。
(大分市、別府市、竹田市、豊後大野市、日出町) ※臼杵市は母子モ導入で廃止
- ④ **独自の子育て支援アプリ**：豊後大野市の「なないろ」
- ⑤ **母子手帳アプリ(母子モ)**：検診や予防接種の情報が月齢・年齢に応じて配信される。臼杵市はHPのイベント情報を添付。
(別府市(医師会)、臼杵市 【R2.10～】大分市、津久見市、竹田市、豊後大野市、日出町【R3.4～】由布市)

※ 子育て世帯向けの情報は複数部署に渡るため、同一市町において情報集約するだけでも労力を要していることが判った。

広域圏内各市町で、広域圏内の情報をいち早くキャッチ

- 👉 **子育て世帯**：圏域内各市町を生活圏域と捉え、日常として休日・余暇の過ごし方の選択肢充実
- 👉 **圏域内市町**：交流人口（特に昼間人口）が増え、地域経済への期待増

まずは、現在子育て支援サイトとして圏域内で最も使用感の良い大分市の「**naana**」へ各市町のお出掛け情報を一括して掲載する。

ゆくゆくは、前述の「**母子モ**」や、更に利用者数の多い「**LINE**」などのSNSを利用したプッシュ型通知へ。

事業の概要と概念図



- ・ 広域圏共通の子育て支援のポータルサイトまたはスマートフォン用アプリケーション等から、子育て世帯向けの広域圏内の**施設やイベント情報（お出掛け情報）**を発信。

- ・ 情報を得た子育て世帯は、興味のある市町へお出掛け。

事業実施による効果

圏域全体

- 子育て世帯が余暇の過ごし方として有用な行政が発信するお出掛け情報を一早く入手することができる。
- 広域圏をひとつの生活圏域と捉えるようになり、日常的・恒常的に広域圏内を往来するようになる。

各市町

- 子育て世帯が各市町に暮らしながら、広域圏内の他市町のお出掛け情報を入手することで、交流人口（特に昼間人口）の増加と地域経済の活性化を期待できる。
- 周知方法を統一して画一的に事務を行うことで、事務担当者の負担軽減が期待される。

現状と事業実施による効果検証

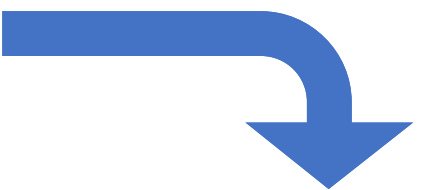
表 1. 子どもの(0～17歳)人口 [人] R2.3.31現在

		未就学児	小学生	中学生	高校生	合計
広域圏	男	18,295	20,692	10,572	10,786	60,345
	女	17,435	19,886	9,981	9,994	57,296
	計	35,730	40,578	20,553	20,780	117,641
大分市	男	12,505	13,863	6,911	7,144	40,423
	女	12,046	13,381	6,639	6,511	38,577
	計	24,551	27,244	13,550	13,655	79,000
別府市	男	2,386	2,717	1,441	1,436	7,980
	女	2,234	2,589	1,329	1,371	7,523
	計	4,620	5,306	2,770	2,807	15,503
臼杵市	男	662	902	463	507	2,534
	女	594	846	412	461	2,313
	計	1,256	1,748	875	968	4,847
津久見市	男	234	322	193	188	937
	女	236	315	177	190	918
	計	470	637	370	378	1,855
竹田市	男	329	412	214	233	1,188
	女	288	380	220	217	1,105
	計	617	792	434	450	2,293
由布市	男	868	913	457	412	2,650
	女	809	866	390	419	2,484
	計	1,677	1,779	847	831	5,134
豊後大野市	男	567	765	441	442	2,215
	女	560	724	402	413	2,099
	計	1,127	1,489	843	855	4,314
日出町	男	744	798	452	424	2,418
	女	668	785	412	412	2,277
	計	1,412	1,583	864	836	4,695

表 2. 子ども年齢別レジャー費 [円]

	レジャー・旅行費		
		日帰り レジャー費	宿泊を伴う 旅行費
0歳	53,375	13,309	40,066
1歳	96,944	28,313	68,631
2歳	120,494	37,683	82,812
3歳	120,921	40,801	80,120
4歳	138,173	47,229	90,944
5歳	143,106	46,007	97,099
6歳	151,268	49,030	102,238
7歳	149,573	50,416	99,157
8歳	164,960	52,498	112,462
9歳	178,335	55,170	123,165
10歳	167,134	52,358	114,776
11歳	172,368	50,984	121,385
12歳	171,611	51,840	119,771
13歳	165,220	44,202	121,018
14歳	164,954	43,984	120,971
15歳	106,715	31,383	75,332

※ インターネットによる子育て費用に関する調査 (H22年度 内閣府 実施のものより)



圏域内の
高校生までの子どもが
いる世帯で **最大**
約24億円
の消費が見込まれる !!

表 3. 就学区分別レジャー費推計

	推計年間消費額
未就学児	580,869千円
小学生	942,004千円
中学生	430,340千円
高校生	434,201千円
合計	2,387,414千円

※ 高校生については、表 2 の中学生の年齢を
学年別に転用して推計している。

事業実施に向けた具体的な取組（スケジュール・経費等含む）

具体的な取組

ポータルサイト（大分市の子育て支援サイト「naana」）に圏域**各市町のお出掛け情報**を一括して掲載するようにサイトの改修をおこない、各市町のイベント等の情報を随時掲載していく。

※ その他の施策等を掲載するかは今後の検討課題。

実施に向けた準備・スケジュール

令和3年1～3月 各市町の広域圏内で共有できる子育て世帯向け施設・イベント（生涯学習系、観光系等）の情報集約

令和3年4月～ 統合したポータルサイトの設計
運用開始
周知広報

事業に必要な費用等

naana： 改修経費、運用保守経費（財源→連携中枢都市圏構想に関する補助金 なければ各市町の単費）

【令和3年4月以降全市町で導入されるアプリ（母子モ）で一括送信する改修を行う場合】

母子モ： カスタマイズ費用 約80万円（一括送信機能を持たせたい自治体に発生）

事業実施に向けた課題と短期目標

事業実施に向けた課題

- 民間のイベント情報の掲載方法
 - 👉 公平性を保つための周知方法、広告料を取るか等
 - ※ SARS-CoV-2（新型コロナウイルス）感染症の影響による各市町の経済的損失を考えると、子育て世帯の外出と消費活動に直結する本事項は、事業開始とともに実施できる体制を整えられれば、官民ともに地域経済回復の一助となり得る。
- 各市町の福祉施策等の差異
 - 👉 今後、お出掛け情報以外でホームページのリンクをnaanaに掲載すると、各市町の福祉施策の差異について差をなくしたり、他市町の制度利用を出来るような要望があがってくる可能性あるか

事業実施における短期目標

KPIの設定

naanaの年間アクセス数

500,000[件/年]（令和3年度）

参考：平成30年度 467,022[件/年]
令和元年度 460,358[件/年]

KPIの設定理由

イベントの参加数などは、情報を持ってもそれ自体に魅力があるかどうかも関係してくるため、情報発信事業としては、その情報の利用者数をKPIとすることが適当と判断した。

またサイト上には大分市独自情報も多いため、お出掛け情報に限定した他市町の利用者増を実績値1割程度と見込んだ。

その他提案に至らなかった政策提言案：① 親元近くに移住する近距離家族 ② 児童死に対する死亡時画像診断による児童虐待防止・抑制

企業誘致における 情報発信の共有化

広域圏内の企業誘致関連の情報発信で、
企業誘致担当者にも便利！！

Team SALUD

班 長：舞 希（竹田市）

副班長：渡邊 康成（別府市）

班 員：津田 惇樹（大分市）

小代 洋介（豊後大野市）

佐藤 瞳海（臼杵市）

明石 剣斗（由布市）

佐々木 健太（津久見市）

小石 剛之（日出町）



テーマの背景・現状の課題 と 目指すべき圏域の将来像

- ① 広域圏内の各市町において、人員配置等の問題もあり個別の企業誘致が進んでいない。
- ② 企業誘致を切り口にした自治体間連携が進んでいない。
圏域全体での雇用機会の確保・創出が困難となっており、将来の人口減少を加速させるリスクがある。

【各市町(広域圏)の企業誘致の現状・取組】

- ① **企業誘致の自治体間連携が進んでいない**
自治体間で取り合いになりがちで、広域圏事業が展開されづらい。
- ② **企業誘致そのものに集中しづらい自治体が多数（マンパワー不足）**
平均的に企業誘致担当者は1～2名、全体業務のうち企業誘致業務は約2割であり、担当者が少なく、片手間に企業誘致を担当している。
そのため、積極的な企業探索や営業活動ができていなかったり、進出用地の整備に向けた作業に取り掛かる環境が整っていない。
- ③ **個性豊かな各市町の特性・魅力を活かした情報発信が必要**
大分県の役割…県として企業誘致を図る → マッチする自治体につなぐ（マーケットインのサポート）
各市町の特性、コンセプトの発信などができていない（プロダクトアウトの発信が弱い）

広域圏内各市町での、多様な企業等の集積と雇用促進等の一助に！

- 👉 **企業等**：圏域内を経済圏・生活圏として捉えてもらい、企業立地検討の際のサポートに
- 👉 **圏域内市町**：企業等から企業誘致担当者へのスムーズなコンタクトを実現

各市町ごとの地域特性や企業誘致のコンセプトを洗い出し、同時に企業体視点に立った上で企業等が欲している情報のニーズ調査を行い、大企業だけでなく中小企業・個人事業主を見据えた情報連携・発信を図ることで、各市町間による状況格差を回避しながら、広域圏内に企業進出を促進していきたい。

事業の概要と概念図

圏域内の企業誘致関連の情報が盛りだくさん！ 企業視点の「**欲しい情報**」をプラスオン！

大分県の6つの魅力

- 1 バランスのよい産業集積
- 2 人材確保に有利
- 3 ゆとりある暮らし
- 4 主要都市に交通アクセス
高速交通体系図
- 5 継続的な支援
- 6 先進技術への挑戦

工業団地・適地

優遇制

追加ポイント

各市町の統計情報
オープンデータの追加
開かれた情報がある
ことで検討材料に
しやすい…？

追加ポイント

Google MAP や
ナビタイムと連携した
移動所用時間の検索機能

子育て世帯情報リンク
企業が動けば、人も動く
ため、移住支援や子育て
世帯に関して便利な情報
を掲載。

先輩企業インタビュー
誘致企業の方に、大分に
進出をしてよかったこと
や、大変だったこと、大分
に来てから生活スタイル
の変化…等をインタビュ
ーし掲載する。

大分県の6つの魅力

工業団地・適地

優遇制度

各種手続き

関係リンク

パンフレット

人と地域を未来につなぐ大分都市広域圏

圏域内の新着情報

企業誘致関連の新着情報

工業団地
適地を検索

優遇制度

パンフレット ・ English

【お問い合わせ先】 ☎：097-000-0000 ☎：097-111-1111 個人情報の取り扱い 著作権について

追加ポイント

条件に応じたの補助金算出
シミュレート機能

新規従事者 30 名

賃貸金額 10 万円

シミュレーション結果…
〇〇〇〇〇 円

追加ポイント

条件検索の充実
価格・面積・アクセス…などの
条件から検索できる

0～1000 円/㎡ ☒

5000 ㎡～50000 ㎡ ☒

駅が近い・住宅地が近い ☒

事業実施による効果

圏域全体

- 多様な企業体や個人事業主が必要としている情報を届けることで、自治体間の適度な競争の原理を残しつつ、経済圏・生活圏として豊かな魅力を持つ広域圏全体の企業進出を促進することができる。
- 企業等も広域圏をひとつの経済圏・生活圏と捉えるようになり、人材確保の負担軽減が期待される。

各市町

- 経済圏・生活圏としての魅力をアピールできたり、市町単独ではカバーできない条件不利を克服できたりすることで、立地条件の良さを企業等にPRすることができる。
- 企業等から企業誘致担当者につながる間口の一つとなることで、企業探索の事務の一助となる。
- 各市町の企業誘致サイトへの投資コストを抑えることができる。

現状と事業実施の方向性とその効果

I 雇用促進のための企業誘致 (圏域内で人材を確保)

- 👉 新たな雇用創出・雇用促進の効果
- 👉 単一市町でなく圏域で広く人材を供給可
- 💡 技術職・専門職の人材確保が困難な場合誘致の足枷となる。

II 従業員ごと連れて来る企業誘致 (圏域内の住民数を確保)

- 👉 本社・支社・工場等の大規模な立地が必須
- 👉 圏域を生活圏域と捉え通勤圏内とすれば、立地市町以外の住民も増加し得る
- 💡 用地やインフラ、企業集積等が立地の決定に影響するため、大分市が強いのは必然。誘致自体ではなく、住民の増加を利として割り切れるかが鍵。



- ・立地市町の住民であるほど通勤には便利であり、条件さえ合致すれば立地市町が最も効果を得る。
- ・圏域をアピールしながら誘致することで、企業も広く人材確保の対象を考えられる。
- ・常に、「人材確保」と「人材育成」が課題となり、また、立地の障壁となり得る。



- ・立地市町は自ずと固定化される。
- ・大規模な移住者(立地に伴う異動によるもの)が期待される。
- ・日常生活圏域として誘致時点からアピールすることで、圏域内のいずれの市町にも居住し得る。



① 年収400万円の単身世帯が
1世帯増えると
居住市町の税収は
約20万円
日常生活における消費は
約240万円
増加する

② 年収650万円の2人以上世帯が
1世帯増えると
居住市町の税収は
約45万円
日常生活における消費は
約380万円
増加する

事業実施に向けた具体的な取組（スケジュール・経費等含む）

具体的な取り組み

- ①各市町のコンセプトの洗い出し調査
- ②企業等が欲する情報ニーズの調査
- ③サイト制作（広域圏内サイトに新規設置）

実施に向けた準備・スケジュール

- | | |
|----------|---|
| 令和3年1～3月 | 各市町のコンセプトの洗い出し調査（地域づくりのコンセプトや地域資源、欲している企業等の特色など）、企業等が欲する情報ニーズ調査（既進出企業等への調査） |
| 令和3年4月～ | サイト制作に向けた仕様、運用ルール等の検討
運用開始、周知広報 |

事業に必要な費用等

- ①各市町のコンセプトの洗い出し調査：なし
- ②企業等が欲する情報ニーズの調査：アンケート調査等実施業務委託料
（財源→連携中枢都市圏構想に関する補助金　なければ各市町の単費）
- ③サイト制作：制作費、運用保守経費
（財源→連携中枢都市圏構想に関する補助金　なければ各市町の単費）

事業実施に向けた課題と短期目標

事業実施に向けた課題

- 大分県の企業誘致サイトとの取り扱い
 - 👉 重複するものを作成してダブルスタンダードになることは避けた方がよい。ため、既にあるものは県のサイトのリンクを貼る形を取るなど、大分県との調整が必要となってくる。
- 各市町の既存企業誘致サイトの取り扱い
 - 👉 今後、各市町の企業誘致サイトが内容の重複による担当者の更新負担、既存サイトに掲載する情報と制作サイトに掲載する情報の整理作業が生じる。
- 情報の更新（形骸化のリスク）と制作サイトへの導線形成
 - 👉 情報の更新は誰が行うのか。各市町の既存サイトに掲載している情報とタイムラグ等が生じないような定期的な更新作業が必要となる。

事業実施における短期目標

KPIの 設 定	KPIの 設 定 理 由
サイトの閲覧数	サイト制作による実績が把握可能となり、制作の成果を確認するため。 （目標値は、広域圏HPの閲覧数と各市町の企業誘致HP閲覧数の現況値により設定したい。）